

くまがや

平成17年 2005 11 第2号

Kumagaya



SL新「熊谷市」誕生記念号

祝 新「熊谷市」のヘッドマークを掲げたSLパレオエクスプレス号が、10月1日・2日秩父鉄道熊谷駅を出発しました。

主な内容

平成16年度決算の概要
市政ワイド
土曜日も業務の一部を行っています ほか
市政情報
くらしの情報

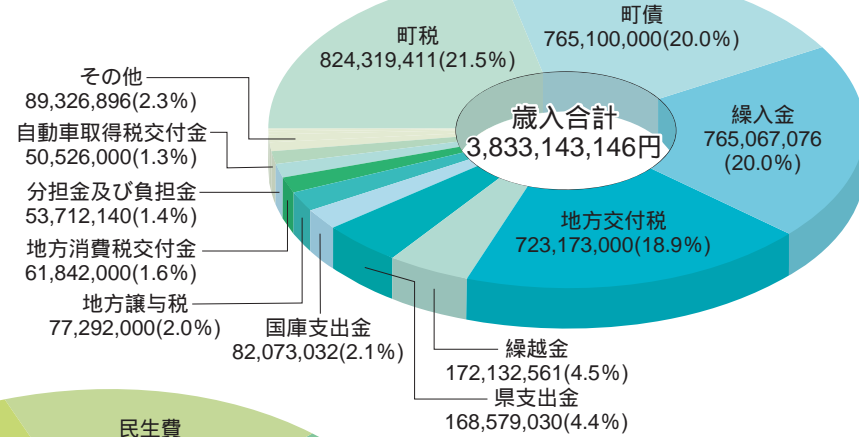
いきいき元気 みんなの健康
文化施設情報
くまがや フォト・ニュース
くまがや東西南北
夢追い人

平成16年度決算の概要をお知らせします

旧大里町

歳入（一般会計）

(単位:円)(の数字は構成比)



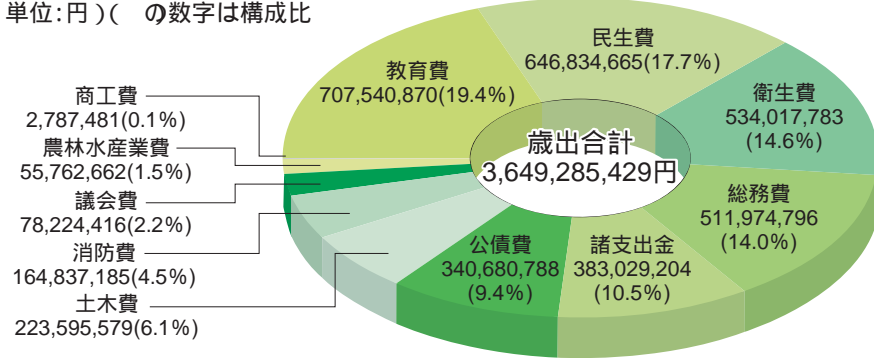
歳入合計

(単位:円)

一般会計	3,833,143,146 (対前年度比21.6%増)
特別会計	1,315,240,089 (対前年度比 2.1%増)
合計	5,148,383,235 (対前年度比16.0%増)

歳出（一般会計）

(単位:円)(の数字は構成比)



歳出合計

(単位:円)

一般会計	3,649,285,429 (対前年度比22.5%増)
特別会計	1,193,732,170 (対前年度比 3.0%増)
合計	4,843,017,599 (対前年度比17.0%増)

歳入

○町税
決算額は、約8億2千4百万円で、前年度と比べ約3千万円、3.6%の減少でした。そのうち、固定資産税は約4億1千9百万円、町民税は約3億4千4百万円であり、この両税で町税総額の92.6%を占めています。

○町債
決算額は、約7億6千5百万円ですが、借換えに係る約1億2千3百万円が含まれており、これを除く実質的な決算額は約6億4千2百万円で、前年度に比べ約2億6千万円の増加でした。平成16年度末現在高は、約25億8千万円です。

歳入

○繰入金
決算額は、約7億6千5百万円で、前年度に比べ約5億6千6百万円の増加でした。内訳の主なものは、公共施設整備基金および、ふるさとづくり基金・船木台環境整備基金・土地開発基金の3基金廃止に伴うものです。

○地方交付税
決算額は、約7億2千3百万円で、前年度に比べ約1億5千4百万円、17.5%の減少でした。そのうち普通交付税は、約6億1千万円で、前年度に比べ約1億5千3百万円、19.9%の減少でした。

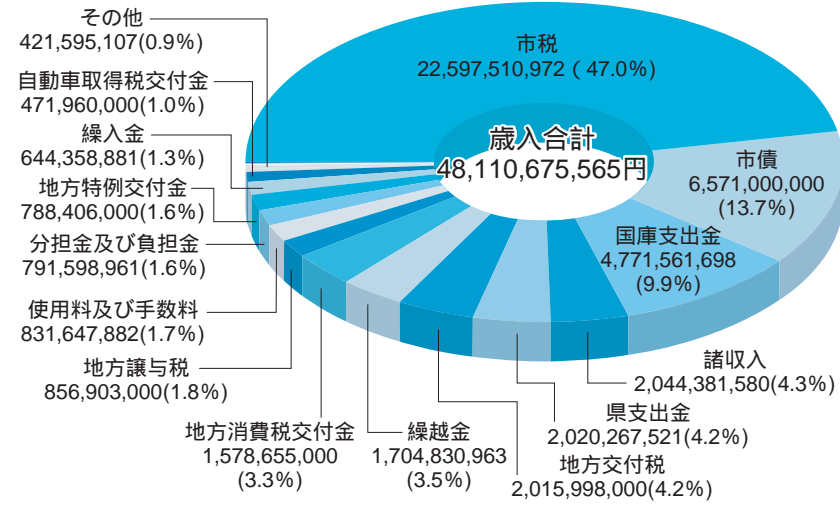
歳出

○教育費
小中学校での学級サポーター設置事

旧熊谷市

歳入（一般会計）

(単位:円)(の数字は構成比)



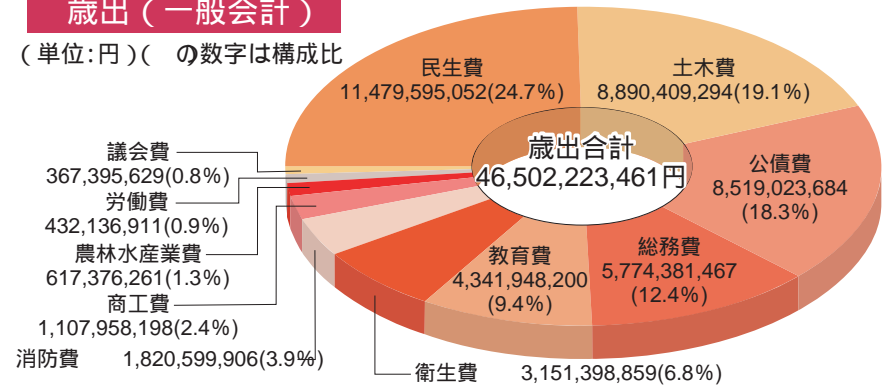
歳入合計

(単位:円)

一般会計	48,110,675,565 (対前年度比3.1%増)
特別会計	30,247,649,754 (対前年度比4.0%減)
合計	78,358,325,319 (対前年度比0.3%増)

歳出（一般会計）

(単位:円)(の数字は構成比)



歳出合計

(単位:円)

一般会計	46,502,223,461 (対前年度比3.5%増)
特別会計	29,667,415,084 (対前年度比3.8%減)
合計	76,169,638,545 (対前年度比0.5%増)

歳入

○市税
決算額は、約225億9千万円で、前年度に比べ約2億円、0.9%の増加でした。そのうち固定資産税は約103億6千万円、市民税は約92億1千万円であり、両税で市税総額の86.7%を占めています。

○市債
決算額は、約65億7千万円ですが、借換えに係る約32億3千万円が含まれており、これを除く実質的な決算額は約33億3千万円で、前年度に比べ約12億4千万円、27.2%の減少でした。平成16年度末現在高は、約411億7千万円です。

○国庫支出金
決算額は、約47億7千万円で、前年度に比べ約8千7百万円、1.9%の増加でした。内訳の主なものは、生活保護費、児童手当・児童扶養手当給付費などの民生費に係る負担金です。

○県支出金
決算額は、約20億2千万円で、前年度に比べ約4千5百万円、2.3%の増加でした。内訳の主なものは、重度障害者医療給付費、特別保育事業費などの民生費に係る補助金、保育所運営費などの民生費に係る負担金です。

○地方交付税
決算額は、約20億1千万円で、前年度に比べ約7億9千万円、28.4%の減少でした。そのうち普通交付税は、約14億9千万円で、前年度に比べ約7億7千万円、34.1%の減少でした。

歳出

○民生費
児童手当・児童扶養手当等の支給、重度心身障害者・高齢者および幼児等に対する医療費支給、放課後児童保育室の整備(第2石原・第2大幡・南・籠原)、生活保護事業などを行いました。

○土木費
道路事業として、熊谷駅西通・鎌倉町通の道路整備事業、街路事業として、北大通線・荒川通線の整備事業、河川整備事業として、新星川の改修事業を行うとともに、都市計画事業として、熊谷駅東地区再開発の推進などを行いました。

○公債費
借入れた市債の定期償還を行いました。なお、償還額85億1千万円には、借換えに係る元金償還の約32億3千万円が含まれており、これを除く実質的な決算額は約52億8千万円です。

○総務費
国民体育大会運営事業、電算システム合併統合事業、男女共同参画センター建設事業、市内循環バスの運行、元気なまち熊谷市ひとづくり支援事業などを行いました。

○教育費
小中学校での学級サポーター設置事業、ノーマライゼーション教育推進事業、社会教育事業として、各公民館での生涯学習講座開設事業、保健体育事業として、学校保健・学校給食事業、各種スポーツ大会などを行いました。

○民生費
児童手当・児童扶養手当等の支給、重度心身障害者・高齢者および幼児等に対する医療費支給、放課後児童保育室の運営、春日文化センターの運営などを行いました。

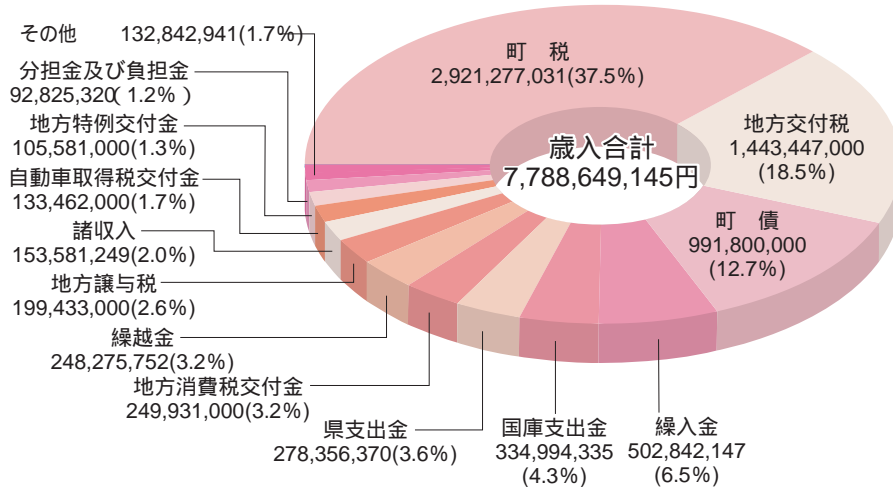
○衛生費
保健衛生の各種健診、予防接種等や保健センターの維持管理、環境衛生のごみ収集運搬委託、ごみ・し尿の処理を行う一部事務組合への負担を行いました。

○総務費
熊谷地区消防組合への負担金、戸籍電算化事業、町内循環バスの運行、交通安全対策事業などを行いました。

○公債費
借入れた町債の定期償還を行いました。なお、償還額約3億4千万円には、借換えに係る元金償還の約1億2千3百万円が含まれており、これを除く実質的な決算額は約2億1千7百万円です。

○土木費
道路事業として、幹線道路町道54・55号線などの整備事業、生活基盤の整備を図るため、道路維持補修、排水路等の整備を行いました。

旧妻沼町



歳入(一般会計)

(単位:円)(の数字は構成比)

歳入合計

(単位:円)

一般会計	7,788,649,145 (対前年度比5.7%減)
特別会計	5,287,713,481 (対前年度比1.6%増)
合計	13,076,362,626 (対前年度比2.9%減)

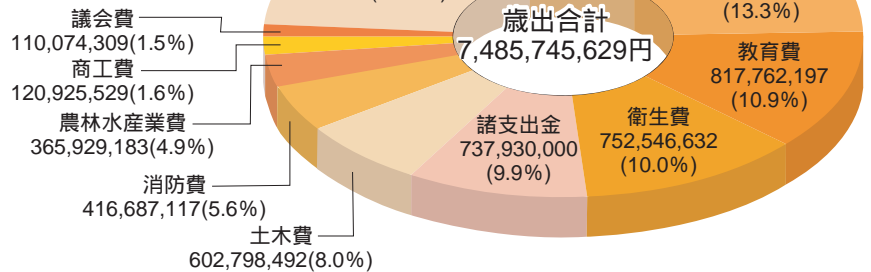
歳出(一般会計)

(単位:円)(の数字は構成比)

歳出合計

(単位:円)

一般会計	7,485,745,629 (対前年度比6.6%減)
特別会計	5,022,498,558 (対前年度比4.3%増)
合計	12,508,244,187 (対前年度比2.5%減)



歳入

○町税
決算額は、約29億2千万円で、前年度に比べ約9千万円、3.3%の増加でした。そのうち固定資産税は約14億1千万円、町民税は約12億3千万円であり、両税で町税総額の90.7%を占めています。

○地方交付税
決算額は、約14億4千万円で、前年度に比べ約1億3千万円、8.5%の減少でした。そのうち普通交付税は、約13億円で、前年度に比べ約1億2千万円、8.9%の減少でした。

○町債
決算額は、約9億9千万円ですが、借換えに係る約3億7千万円が含まれており、これを除く実質的な決算額は約6億2千万円で、前年度に比べ約3億4千万円、35.7%の減少でした。16年度末現在高は、約70億3千万円です。

歳出

○民生費
高齢者等の入所措置、障害者の支援費、児童手当等の支給、重度心身障害者・高齢者および乳幼児等に対する医療費支給、子育て支援事業、妻沼児童館の開設、上須戸保育所増築事業などを行いました。

公債費

借入れた町債の定期償還を行いました。なお、償還額約11億6千万円には、借換えに係る元金償還の3億7千万円が含まれており、これを除く実質的な決算額は約7億9千万円です。

総務費

妻沼行政センター(旧庁舎)改修事業、合併50周年記念事業、彩の国まごころ国民体育大会事業、循環巴士の運行、各地区コミュニティセンター整備、町勢要覧の作成などを行いました。

教育費

妻沼小学校管理棟大規模改造事業、小中学校での教科指導員設置事業、社会教育事業として、生涯学習の推進体制の整備・充実、聖天堂保存修復工事補助、保健体育事業として、町・地区公民館・体育協会での各種スポーツ大会・教室などを行いました。

衛生費

老人保健事業(健康教育・健康相談・健康診査・機能訓練・訪問指導)、母子保健事業としての子育て支援(乳幼児健康診断、訪問指導、健康相談、健康教育など)、各種予防接種、合併処理浄化槽設置補助などを行いました。

財政課 内線240